

## 会議記録(概要)

会議名	令和4年度第1回三田市立図書館運営評価委員会
日時	令和4年7月21日(木) 18時00分から19時30分
場所	三田市立図書館本館2階コミュニティホール
出席委員	馬込委員長、有川副委員長、岡田委員、尾上委員、富岡委員
指定管理者	図書館流通センター関西支社 山中ジェネラルマネージャー、吉田エリアマネージャー、東館長、橋上分館長
事務局	地域共創部長 甲斐、市民協働室参事 横溝 文化スポーツ課長 嘉土、係長 堀、山本
傍聴者	1人
添付資料	レジュメ、資料1～6

### 会議概要

#### 1 開会

#### 2 あいさつ

地域共創部長あいさつ

#### 3 委員紹介・事務局紹介【資料1】

#### 4 正副委員長選出

馬込委員長、有川副委員長

#### 5 確認事項

##### (1) 会議の招集・成立について

- ・定員の過半数を超える出席につき成立

##### (2) 会議の公開及び諸般の確認について

- ・公開することを承認
- ・会議録に個々の発言者氏名を記載しないことを承認

##### (3) 指定管理者の招致について

- ・現場での実務についての応答のため、指定管理者を出席させることを承認

##### (4) 運営評価委員会に関する趣旨・開催スケジュール説明【資料2】

- ・委員会の設置目的、開催スケジュール、モニタリング評価の方法を確認

## 6 報告事項

### ① 図書館の役割と概要について【資料3】

**事務局** 資料3に基づき説明

### ②令和3年度委員モニタリング結果について【資料4】

**事務局**

- ・資料4に基づき説明。
- ・資料4は、昨年度の事業について前委員の皆様に評価いただいた結果。項目平均点は、全委員の皆様の評価の平均値を記載。コメント欄にあるように、昨年度はじめて取り組んだ障害福祉課でのブックリスト配布や学習席スペースでの展示など、ターゲットを絞った取組について良い評価をいただいている。一方、館内の表示や案内など、より利用しやすい環境づくりについては、課題の指摘をいただいている。

**委員長**

これまでより、ちょっと辛めの点数になっているか。

**事務局**

項目平均点としては、いずれの項目も3となっているが、それぞれの採点を見ると2点や4点があり、平均すると結果として3になっている。

**委員長**

項目平均点としては3だが、それぞれの項目では、2.8点など3未満のものがある。そういった項目が課題となると思うが、例えばレファレンスサービスについてはどうか。

**指定管理者**

モニタリングでご指摘いただいたとおり、レファレンスサービスを知らない人にはわかりにくい状況であったので、案内表示を作成し改善した。

**委員長**

ネットで流れてくる情報をみていると、図書館のレファレンスサービスがいかにすごいかという記事を散見する。図書館の調査力を生かして生活が充実する、調べていることがはっきりするという事例を目の当たりにすることがあり、レファレンスサービスというのは図書館の看板で、司書の専門職の能力が発揮できる部分である。調べものはこちらへどうぞということをどんどん押し出してほしい。

**指定管理者**

今までレファレンスは図書館をよく知っている人へのサービスという面があったが、今後は、図書館を知らない人に向けてもアピールしていきたい。

#### 副委員長

図書館関係者はレファレンスという言葉を使うが、一般の方には認知されていない言葉。サービスの内容を知ってもらうということが、まずは大事。

#### 委員

レファレンスサービスで、そこまでしてもらえるとすることを知らない。

#### 委員

読書通帳についての項目があるが、学校の読書通帳とは別のものか。

#### 指定管理者

図書館の本はもちろん、それ以外の本についても通帳に記載できるもので、学校の読書通帳とは異なり、大人の方も利用されている。

#### 副委員長

モニタリング結果を見ると3以下の項目は案内表示等が不十分であることの指摘が多い。サービスそのものはしていても、認知度が低いと利用してもらえないので、そのあたりの改善を求める内容になっていると思う。

#### 委員

例えば電子図書館を知らなかったのもっと広報してほしいといったことを申しあげたが、この1年よく対応していただいている。

#### 委員長

ここでの議論に対し、的確、迅速に対応し、改良していただいていると思う。

#### 委員

外国人へのサービスについて少し点数が低い。三田でも外国人の方が増えている。専門書は集め出すときりがなく、雑誌類はネット等で読めるものがあるので、子どもの本、絵本を3言語くらい揃えていくとよいのではないかと思う。

#### 委員長

3言語とは何語か。

**委員**

中国語、ベトナム語、韓国語だろうか。

**委員長**

三田市に住まわれている方はどこの国の方が多いのか。

**事務局**

外国籍の方が約 1,0000 人、その内の半分が、韓国、朝鮮籍の方。残りの半分が、英語圏、中国、ベトナムの方などである。先ほど言われた 3 言語はなかなか揃えられていないと思う。

**委員**

関係のある団体でも 4 人の外国籍の子どもがいて、親が日本語をわかる場合もあるが、ベトナム語など通訳を介さないといけない場合もある。そのような子どもが読む本がない。

**委員長**

外国人の方の施策については、図書館だけの問題ではなく、市の担当部署があると思う。例えば国際交流協会と連携して、ニーズの把握などはできないだろうか。

**指定管理者**

以前にもアドバイスをいただいたので、まずは国際交流協会の方に図書館見学に来ていただいた。また、協会から外国人の方からニーズのある本のリストをいただいた。母国語の本を求めるといっても、簡単な日本語の本を必要とされているとのことであった。

**委員長**

図書館が国際交流協会に問合せをしてニーズを調査し、書籍を購入しているということを文化スポーツ課から市の国際交流担当部署に伝えていただきたい。図書館が国際交流協会と連携して、外国の方の生涯学習、生活支援に力を入れているということを市内の方にも知っていただくことが必要。

モニタリング結果については、点数そのものよりコメントを大事に改良を重ねていただけたら良いのではないかと思う。

**③令和 4 年度事業計画について【資料 5】**

**指定管理者**

- ・資料 5 に基づき説明

- ・前回までの委員会、およびモニタリングでいただいたご意見については、今年度の事業に反映させていただいているが、振り返りとして、特に5点ご報告させていただく。
- ・1点目、放課後の児童へのアウトリーチについて、チラシを作成し各児童クラブに配布した。開催希望については可能な限り対応していきたい。
- ・2点目、小学校への電子図書館の案内の継続について、夏休み前に全小中学校への配布を完了した。

#### 委員長

途中だが、学校で配布されたチラシなどを見ていただいて、学校の側からもフィードバックいただければ良いのではないかと思います。

#### 委員

図書館を利用した子どもの反応を夏休み明けに見られるのを楽しみにしたい。

#### 指定管理者

- ・また、教育委員会と連携し試行的に、すずかけ台小学校全生徒のタブレットの電子図書館登録を9/1使用開始に向け調整中である。
- ・3点目、ツイッター上での本の紹介について、ツイッター上では図書館行事案内、お知らせメインにしているため、インスタグラムを使い積極的に進める。ちなみに講演会を行って頂いた今村翔吾先生の全作品の案内をアップしている。
- ・4点目、昨年好評であった読書通帳の登録キャンペーンは、今年も夏休み期間中に実施する。読書通帳機を通して、本を読む習慣作りに貢献したい。
- ・5点目、三田学園以外の学校との協力については、三田市にある全高校に三田学園との活動を紹介し、同じような活動をしませんかという内容の勧誘のお手紙を出している。
- ・他にレファレンスサービスの案内、予約サービスの掲示、子どものコーナーへ誘導する案内板、大活字本の表示等について改善している。

#### 委員長

只今の報告内容についてご質問等、お願いしたい。

#### 委員

外国人の方への日本語教育という点では、先ほど出たような資料を揃えるということがいいと思うが、日系の方、在日の方、ベトナムの方、中国の方、それぞれアイデンティティを求めていかれると思う。県人会のようなもの。神戸の中央区は20年前は人口の10%が外国の方だった。三田では1%だが、今後増えてくると、社会教育施設としての関わりも整理されてくると思う。

#### 委員長

市がどんな街づくりをしていくのかという方針に基づいて図書館がサービスを行うので、文化スポーツ課が国際交流の部門と話をし、図書館でどんなことをしていくのかということを下ろしてもらえたら。それが図書館の経営目標の追加等の検討につながるようになる。今後の変化を見据えて、どうしていくのかというのは重要な視点。

#### 委員

今村翔吾さんの講演会はどうやって企画されたのか。  
とても良い企画だと思う。

#### 指定管理者

「今村翔吾まつり旅」という企画があり応募した。作家さん側の企画なので講演料は無料であった。

#### 委員長

直木賞作家に無料で講演いただくことができた。経営努力のひとつだと思う。倍率は高かったのか。

#### 指定管理者

先着順で三田に来ていただくことができた。参加者の募集は定員 23 人のところ 3 倍程度の応募があった。

#### 副委員長

もう少し大きな会場を用意できれば、多くの人に参加いただけたのではないか。

#### 指定管理者

もともとの企画が書店等での小規模な開催を想定されていたということがある。

#### 副委員長

- ・先ほどの外国人の方への読書支援では、日本語教育とアイデンティティ確立、両面での支援が必要だと思う。また、外国語を母語とする子どもの支援については、学校との連携が必要。
- ・調べる学習コンクールのこの夏の応募状況が気になっている。学校から自由研修として後押ししてもらえると応募作品も増え、全国大会への応募の枠も広がる。
- ・コロナがまた増えるなかで、この委員会もそうだが、おはなし会などもネットを使

った取組の可能性があるかと思う。

・事業計画に、LLブックやパスファインダーといった言葉があるが、このあたりも一般の人には理解しにくいいため、広報していければよいのではないか。

#### 委員

・絵本が好きで、書店に行くと絵本を手取る。人の読書についての関心は、まず絵本から。先ほどの外国の子どもも日本の子どももそうである。絵本が、読む楽しさを味わい、また、言葉の豊かさ、心の豊かさを育むベースになる。小学校の低学年はもちろん、高学年にも絵本はおもしろいよ、大きくなっても読んでごらんという話をして

いる。  
・先日は必要にかられて、図書館で分厚い本を借りた。電子媒体も便利だが、紙媒体はよさも大切にしたいと感じた。

#### 委員長

・今回から第5期、委員さんも変わられて新しい視点が出てくるかと思う。運営評価委員会の4期目からと思うが、図書館が市役所窓口とつながるといった取組がされている。今回の報告でも、国際協力協会とつながる、学校ボランティアとつながるといった取組があり、図書館が様々な分野を結ぶハブになっている。知の拠点とは正にこういうことかと思う。図書館もつながることで様々なことがわかり、それをまた講演会なのか、ブックフェアなのか、そういう形で発信することで良い循環が生まれる。図書館が無料貸本屋ではないというのはここだと思うので地味な取組ではあるが、確

実につながっていくっていうことを通して、三田の中でいろんな暮らしのネットワークを作っていけるのではないか。

・移動図書館は高齢者福祉施設にいつているが、障害者福祉施設にもぜひ行っていただきたい。また、難しいところもあるかと思うが病院等、外に出るチャンスの少ないところへの移動図書館も検討いただきたい。

・資質向上ということでいろいろな研修をされているが、それも大々的にアピールされても良いのではないか。

・森の図書館の取組は良いと思う。川の図書館、あるいは野外活動センターへ移動図書館を持っていくなど、屋外での読書も面白い。

## 7 令和4年度モニタリング実施について【資料6】

#### 事務局

・委員の皆様には、資料6の評価シートにより、図書館のモニタリングを実施していただく。

- ・各項目にそって4点満点で評価をお願いしたい。
- ・来年令和5年3月に開催する第2回委員会での報告内容も考慮し、3月末にご提出ください。委員の皆様の評価をとりまとめ、運営評価委員会の年間評価とさせていただきます。
- ・モニタリング項目は複数あるが、今年度の事業計画における重点取組を「子どもの読書推進、子育て支援」としているの、この点に注目してモニタリグをしていただきたい。

#### 委員

今回の評価は、来年度に行われる指定管理者の選定に影響するのか。

#### 事務局

令和4年度の運営に関する評価であり、選定の評価には影響しない。

#### 委員長

重点取組については、評価シートにわかるよう記載をお願いします。  
これで議事を終了する。

<19:35 閉会>